

2月8日：テト休暇前に国内外の投資家は手仕舞い

テト休暇の休場前、月曜日のベトナム株式市場は下落して引けた。

ホーチミン市場（HoSE）の主要指数であるVN指数は4%近く（43.73ポイント）下げ1,083.18ポイントで引け、1,100ポイントの水準を割り込んだ。

1月末につけた73ポイントを超える歴史的な下げ以来、同指数は日中で最大の下げを記録した。

先週の上昇がテト休暇前の最後の2日間続くだろうと予測したアナリストの予想に対し、株価の動きは反対だった。

同指数は6.65%先週上昇した。先週のマーケット上昇は世界の他市場の流れを受けたものだった（MB証券のデイリーレポート）。

同市場の下落銘柄数は385、そのうち18銘柄がストップ安となり、上昇は69銘柄だった。24銘柄は変わらず。国内勢から約13兆8,000億ドンの資金が流入し、約5億9,000万株が商い成立した。

マーケットは大型株の売りに押された。

ほとんどの大型株は月曜日振るわなかった。VN30指数は3.78%（42.91ポイント）安の1,092.59ポイントだった。組み入れ銘柄のうち、27銘柄が下落、そのうち1銘柄が7%のストップ安、一方で3銘柄は上昇した。

ホアンファイ投資金融サービス(TCH)は1銘柄ストップ安を記録し、6.87%安の21,000ドンだった。

銀行、証券、不動産、建設、運輸、製造、小売、情報技術、公益を含む全てのセクターでは、多くの大型株が3%以上下げ、急落した。

市場動向に影響を与えた上位5銘柄は、ビンググループ（VIC）-6.05%、ベトコムバンク（VCB）-5.9%、ビンホームズ（VHM）-4.63%、ビナミルク（VNM）-3.92%、ベトナム投資開発銀行（BID）-4.07%だった。

ハノイ市場では、主要指数である HNX 指数が 1.38% 安の 220.76 ポイントで、一方 HNX30 指数は約 3% 安の 329.33 ポイントだった。

1 億 100 万株以上が取引され、売買代金は 1 兆 5,700 億ドンとなった。

外国人投資家もホーチミン市場で売り越し、売り越し額は 1 兆 4,000 億ドンだった。その一方、ハノイ市場では 2,125 億ドンの買い越しとなった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。